

薩摩おごじよ

悔しさの先にある栄光を求めて、課題と目標を再確認した 県新人大会準優勝

11月3～4日に日置市東市来総合運動公園にて県新人大会（全国選抜予選）が行われました。新チームとして迎えた全国大会を懸けた初の県大会で生徒たちも緊張のなかにも昨年に続いての優勝を狙って臨んだ大会でした。初戦を突破し、準決勝で鹿屋中央高校と対戦しました。序盤緊張からか思うようなプレーができず劣勢でしたが、追い込まれてからの鹿女子魂が彼女たちには備わっていました。中盤から打線が爆発して逆転勝ちし、決勝に進出しました。全国選抜大会出場を懸けて神村学園と対戦しましたが、初回は良い流れでスタートしましたが、2回に死球と失策で失点し、終わってみれば0対7で敗れました。

今回の県大会を通じて改めて感じたことは、「ソフトボールはエラーや失敗はある、しかしエラーや失敗をしたら負ける」ということです。投手であれば四球、野手であれば失策です。打撃は相手投手のレベルが上がればなかなか打つことは難しくなってきますが、守備に関してはやればやっただけ技術も向上します。特に相手が全国屈指の強豪校：神村学園ともなると、試合中の緊張感も他の試合とは大きく異なります。歴代の先輩方もその緊張感のなか戦ってきて、そこで自分たちのベストパフォーマンスを出すことの難しさを現部員たちも感じとったことと思います。「エラーや失敗はある。でもそれをしてはライバルには勝てない」。このギリギリの緊張感の中で戦い抜ける精神力をつけることが大事になってきます。エラーや失敗を恐れて守りに入ったプレーをしていたら成長も止まるでしょう。私はチャレンジしたエラーや失敗はOK！むしろチームに勢いと自信をもたらすと思っています。ライバルに勝つためにはプレッシャーの掛かる場面で、どれだけ自分たちがやってきたことを信じ、攻め続けられるかではないでしょうか。

準決勝で得た自信と、決勝で味わった悔しさ。このチームはまだまだ発展途上です。自らの課題に向き合い、どれだけライバルに負けない努力をできるかです。

県新人大会準優勝

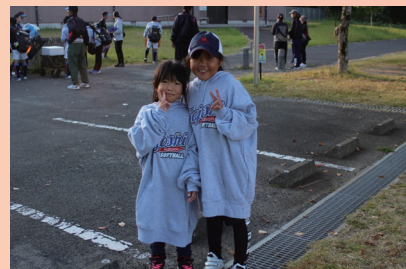


次は優勝旗を勝ち取ろう！

準決勝で得た自信と、決勝で味わった悔しさ。このチームはまだまだ発展途上です。自らの課題に向き合い、どれだけライバルに負けない努力をできるかです。



いつも選手の怪我のサポートをしていただく叶夢(ミライ)スポーツ整形外科の方々には大変お世話になっています。



未来の鹿児島女子ソフトボール部の選手かな?? いつも応援ありがとうございます!!



決勝の前に応援に来てくださった方々へ挨拶!



得点を積み重ね、自然と笑顔が弾けます!



リード・オマンのことが先制のホームイン!出迎えたみんなとハイタッチ!!



勝負所の場面で1点を取りに行くために入念な確認をしています!



試合をひっくり返し、喜び大爆発!!



2年生投手陣三本柱!次こそは頼むぞ!